

## 事前評価調書

I 事業概要																																																																											
事業名	砂防等事業（通常砂防事業）																																																																										
地区名	くわはらほら 桑原洞（Ⅱ）																																																																										
事業箇所	とよたしくわはらちよう 豊田市桑原町地内																																																																										
事業のあらまし	<p>桑原洞は豊田市桑原町に位置し、保全対象として第1次緊急輸送道路である国道153号及び人家41戸を保全対象とする土石流危険渓流である。</p> <p>土石流による土砂災害から人命財産及び公共設備を守るため、砂防設備を整備し、土砂災害対策を推進する。</p>																																																																										
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人家41戸、国道153号を土砂災害から保全する。</li> </ul> <p>【副次目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ なし</li> </ul>																																																																										
事業費	事業費		内訳																																																																								
	3.6億円		□工事費 3.4億円、□用補費 0.1億円、□その他 0.1億円																																																																								
事業期間	採択予定年度	2026年度	着工予定年度	2027年度	完成予定年度	2034年度																																																																					
事業内容	渓流保全工 L=259m																																																																										
II 評価																																																																											
①事業の必要性	1) 必要性	流域は荒廃が著しく、不安定土砂が多く堆積しており、豪雨等が発生した際は甚大な被害が発生する恐れがあるため、土石流対策を行い、保全対象を守る必要がある。 費用便益分析マニュアル(砂防事業)に基づき算定したB/Cは3.4で1.0を越えている。																																																																									
	判定	A	A： 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。 B： 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。																																																																								
		【理由】土石流から保全対象を守る必要があるため。																																																																									
②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> <th>2029</th> <th>2030</th> <th>2031</th> <th>2032</th> <th>2033</th> <th>2034</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">工種 区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・堰堤工</td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費(億円)</td> <td colspan="9">3.6</td> <td>3.6</td> </tr> </tbody> </table>							2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	合計	工種 区分	調査・設計	←→										用地補償	←→										工事											・堰堤工		←							→		事業費(億円)		3.6									3.6
			2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	合計																																																															
工種 区分	調査・設計	←→																																																																									
	用地補償	←→																																																																									
	工事																																																																										
	・堰堤工		←							→																																																																	
事業費(億円)		3.6									3.6																																																																
2) 地元の合意形成	過年度に地元説明会を実施した際、渓流保全工の要望の声が高まっているため、合意形成は図られていると判断する。																																																																										
判定	A	A： 事業計画の実効性が期待できる。 B： 事業計画の実効性が期待できない。																																																																									
		【理由】円滑な事業環境は整っており、計画の実効性が確保されている。																																																																									

Ⅲ 対応方針	
事業実施が 妥当である	事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容	
<p>■対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/>対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <p>・砂防堰堤や保全対象の状況から事業効果を確認する。</p>	